



	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
11月	737	514	520	29	6	1,806	688	61	142	199	112	478	3,819
累計	5,730	3,862	3,702	531	44	13,869	7,963	433	1,373	1,404	1,028	3,757	29,827

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

🔍 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

487.5 ジンベイザメはイワシやカツオがその付近を泳ぐことから、漁師から「えびす」などと親しまれて信仰されていると聞いた。このようなジンベイザメの民俗信仰について知りたい。

『鮫 ものとなりの文化史 35』（矢野憲一／著 法政大学出版局 1979）p.58-59に、「サメの効用と恩恵というのは、特に魚の王者であるジンベイザメにカツオが寄りそうように付くので、これを生きた魚群探知機として活用し、大漁をもたらしてくれるエビスさんとよんで大切にしていることだ。ジンベイザメはプランクトンを常食にしているので、プランクトンを餌にするイワシのいるところを必然的に泳ぎ、そのイワシを好餌とするカツオがつくというわけである。」と記載がある。

ジンベイザメと人との関わりや伝承について、また「エビス」として信仰されるまでの過程については、『カツオ漁 ものとなりの文化史 127』（川島修一／著 法政大学出版局 2005）に詳しく記されている。p.98-120の「サメツキ」の項に、江戸時代の書物『武江年表』（斎藤幸成／編 1849～1850）や『魚鑑』（武井周作／著 1831）の記録から、江戸後期頃はジンベイザメに対して「恐怖感をもって接していることがわかり、大船を覆すと伝えられ、不漁の原因もこの大魚のせいになっている。」「大漁もさせてくれるし、危険にもさらされるという両義的な魚として位置付けされ始めていた。」と解説している。また、明治以降の各地の漁師たちの証言から、「ジンベエザメのことを「海中の怪物」と捉えてはいるが、このサメと出会えばカツオの大漁に恵まれ（中略）三陸地方で「ジンベエ様」と敬称を付けたり、この魚のことを「エビス」と呼んでいるのも、そのためである。」「ジンベ이는獲らぬ。悪口を云うことも慎む、うつかりしてこの魚の悪口を言ふと、船底に穴をあけられる。」「甚兵衛さまを、有難い大漁の神様のお使いとして尊敬し、お神酒を捧げて、お祝いをするのがならわしであった。」等、ジンベイザメとの関りについての記述がある。

そのほかに、『総合日本民族語彙 第2巻』（民俗学研究所／編 平凡社 1955）p.762-763「ジンベイ」の項に、「常に鰐を連れ廻っているの、これを見ると大漁という。東北地方の太平洋岸で広く傳承する。ジンベイザメには漁の神がついているというが、これに出會った後はフナタデをして、穴があいていないかどうか調べなければならぬともいう。」とある。また「ジンベイスアマ」の項には、「宮城縣牡鹿半島の金華山沖の海で見るという海の怪。このものが出るときは鰐は大漁であるという。首尾のわからぬほど大きなもので、船の下に入って船を支えていることがある。下を見ると水が淡く光っている。竿でその光の所在を突くと沈むというが、疑いもなくかかる興奮の折に見る海のまぼろしである。」と記載があった。

488.7 2011 年の東日本大震災による原発事故以降、福島県産の農水産物は風評被害により店頭より姿を消すことがあったが、日本酒については風評被害が少なかった。原料である米や水は風評被害を最も受けやすい産品であるのに、なぜ日本酒はさほどの風評被害を受けずに済んだのかを知りたい。

日本経済新聞のホームページに 2011 年 4 月 9 日の記事「日本酒 6 品目、放射性物質検出されず 福島県酒造組合」があり https://www.nikkei.com/article/DGXNASFB0805V_Y1A400C1000000/ (2024.3.7 確認)、「福島県酒造組合会長の新城猪之吉会長は 8 日、同組合の参加企業が手掛ける日本酒 6 品目に対して放射能分析調査を実施したところ、放射性ヨウ素や放射性セシウムなどが検出されなかったと発表した。新城会長はすでに佐藤雄平知事に結果を報告。6 日付で県から検査結果確認書を取得した。今後は検査結果を元に製品の安全性を訴え、風評被害の軽減を目指す。(中略)同組合では検査結果を元に国内外に対して製品の安全性を訴えるほか、販売促進のイベントなどを開催する予定だ。」と書かれている。

また、2012 年 2 月 20 日 毎日新聞 朝刊 29 面に「日本酒の昨年の輸出量が過去最高を更新したことが、財務省貿易統計で分かった。東京電力福島第 1 原発事故を受け、海外で一時輸入規制が広がったが、東日本大震災の被災地をはじめとする各蔵元の地道な P R や、行政機関による放射性物質の検査徹底が、海外の消費者の安心感につながったようだ。(中略)醸造用水の水質検査結果をホームページで掲載し、米国などへの輸出を続けた。(中略)今後も定期的に検査を続ける予定だ。」と書かれている。

『世界でいちばん熱い日本酒』(岡本進／著 朝日新聞出版 2023)p.216-217 に、原発事故後の米を使って仕込まれていた酒の出荷量が落ち込み、それに対して福島県酒造組合会長が、「県内の蔵元に「国が認めた機関が実施する全国新酒鑑評会で圧倒的にナンバーワンになろう。みんなで金賞を取るぞ」と再び檄を飛ばした。(中略)平成二十四酒造年度の鑑評会で二十六点が金賞となり「日本一」になった。」との記載があり、各蔵元の努力や P R もあったことが分かる。

- 783 1988 年のプロ野球のオープン戦全試合の球場及び結果について知りたい。なお、オープン戦は公式戦ではないので、『ベースボール・レコード・ブック』には情報はなかった。

上記問い合わせのとおり、『ベースボール・レコード・ブック』(正式書名『日本プロ野球記録年鑑』(ベースボール・マガジン社／編))にはオープン戦の結果等の記載はなく、図書としてまとまっているものは見つけることができなかった。しかし、公式戦同様新聞には掲載されており、1988 年の朝日新聞縮刷版を調べた結果以下のことが分かった。

『朝日新聞縮刷版 1988 年 1 月号』(朝日新聞社 1988) の 1 月 27 日朝刊 19 面のスポーツ欄に、1988 年の全オープン戦日程(日にち、対戦チーム名、試合開始時間、会場名)の記載がある(全 121 試合)。

試合結果については、試合日の翌日の朝刊(休刊の場合は夕刊)で確認ができる。なお、雨天等で中止した場合は翌日のスポーツ面に「雨で中止のオープン戦」等の記載がある。

また、3 月 29 日朝刊 22 面のスポーツ欄には、オープン戦勝敗(全日程)、打撃 20 傑、投手 10 傑の記載がある。

他にもこんな質問ありました(クイック・レファレンスから)

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など
289.1	いせやうへい 伊勢屋宇兵衛(伊勢宇橋を架けた人)について書かれている本を読みたい⇒市内にはなかったが、白井市立図書館所蔵の『江戸醤油酢問屋伊勢屋宇兵衛の研究 民間活力に徹した人生』(鈴木普二男／著 1990)を紹介。	
538.7	市川市内に AIRCRAFT(航空機)関連の洋書はあるか⇒市内にはなかったが、千葉県立西部図書館所蔵の『Lockheed Martin F-16C/D Barak(AIRCRAFT OF THE ISRAELI AIR FORCE 4)』(Ra'anan Weiss／著 IsraDecal PublicatioISRADECAL PUBLICATIONS)を紹介。	
786.5	自転車に乗ることにより健康になることを分析している本はないか⇒『自転車に乗る前に読む本 生理学データで読み解く「身体と自転車の科学」』(高石鉄雄／著 講談社 2023)、『自転車で健康になる』(中村博司・高石鉄雄／共著 日本経済新聞出版社 2009)等に記載がある。	